

第1部

職員の日

8:45

起床

今日もさわやか...なのは天気だけでした。毎日のこととはいえ今日も寝坊とは...とにかく急いで出勤しなくては いけません。



9:25

出勤

中央省庁の朝は9:30に始まります。おかげさまで何とか間に合いました。電車の運転手さんに感謝しつつパソコンを立ち上げ、受信メールと今日の予定がどうなっているかを確認します。

10:00

官房

大臣官房総務課のボックスに作業依頼を取りに行きます。

一年生は各局の筆頭課に配属され、窓口業務につくことが多いです。局に割り振られた作業依頼などを確認し、局内の関係課室に割り振ることがメインの仕事になります。さあ、部屋に戻って早速割り振らしましょう...



10:05

官房その2

と、思いきや、昨日提出した案件について不備があることを、官房総務課の審査担当の方に指摘されてしまいました。チェックが甘かった...窓口は、割り振った作業の成果を回収し、確認してから振り元に提出するまでが仕事です。きちんとしないとこのような目に遭いますので注意しましょう。



12:30

昼食

お昼は日比谷の方まで行ってみましょう。女性職員にあっさり断られたので今日も男性職員のみですが、いい天気の日に出ると気分転換になります。昼食の取り方は様々です。地下の売店で買うこともあれば、余裕のあるときには銀座まで食べに行くこともあります。



一年生の1日

健康局総務課

荻原 和宏

(平成14年入省)



14:00

お供

今日は内閣法制局の法令審査の日ですので、上司のお供で法制局まで行ってきます。法制局審査では、法令の文言が正確に規定したい内容を表示しているか、他の法令との整合性はとれているのか...など細部にわたり様々なチェックが入ります。ハイレベルなやりとりがなされるので一年生にとっては非常に勉強になります。早く自分も一人で法制局に行くようになりたいものです。



16:00

照会

法制局から戻ると、外線から電話がかかってきました。厚生労働省には地方自治体や一般の方など様々な所から問い合わせが来ます。難しい問い合わせも多いのですが、省としての回答をきちんとしなくてはなりません。

18:00

主意書が当たった！

質問主意書が当たりました！！
質問主意書とは、国会議員から出される文書による質問のことで、どの省庁が回答するのか、限られた時間で決めなくてはならないため、関係がありそうな部局では回答の可否を確認するために走り回る事もしばしばです。さて今日は...



20:00

相談

厚生労働省の業務はととても幅広いので、見たことも無いような案件がたくさんあります。こんな時は自分で過去のファイルなどを調べたりもしますが、上司・先輩といった生き字引の方々に相談するのもとても大事です。今日も色々と教えていただきました。来年自分も同じ事ができるよう頑張らねばなりません。



23:00

帰宅

今日もなんとか無事一日が終わりました。一年生は日々勉強です。今日はまっすぐ帰って所管法律の勉強でもすることにしましょう。

23:35

都内某所

勉強は・・・？



ONE DAY



10:30

資料作成など

「このまえ頼んでいた資料、集まった？・・・え？まだ？まったくもう・・・。」お小言はさておき、労働政策担当参事官室では、政府全体で作る基本方針などについて、省内の意見調整を担当するほか、ワークシェアリングの推進なども担当しております。他府省からの意見照会に対する回答案を作成したり、各種会議で提出する資料を作ったりするため、基礎資料を探して原案を作っていきます。作業に当たっては関係部署とよく相談しながら進めていくことがとても重要です。



07:30

起床

「・・・あと10分・・・。」もともと早起きは苦手ですが、就職してからは必死に起きてます。とはいえ、毎日帰りは遅いので、1分でも長く寝ていたい・・・。当然朝ご飯なんかこしばらく食べたことはありません・・・。

09:30

出勤

今日は国会審議の関係の大臣に対する早朝レクの立ち会いがなかったのでいつも通りに出勤。朝はまずメールチェックから始まります。仕事のやりとりは文書や電話だけではなく、メールでもやりとりしており、特に会議やレクで席に着いている時間が少ないときなどは時間を有効に使った作業ができます。今日も昨日作業をお願いした件に関して早速問い合わせのメールが入っています。

12:00

昼食

午前中の仕事が一段落し、昼食をとり外出。厚生労働省は日比谷公園のすぐ側で晴れた日に公園内をとりながら出かけるのは非常にいい気分転換になり、午後の仕事もはかどる？かも。



係長の1日

政策統括官付労働政策担当参事官室調整第1係長

佐々木 葉々子

(平成8年入省)



13:00

会議

午後からは来年度の重点課題についての打合せへ。労働政策担当参事官室では、労働関係の施策の取りまとめを行っていますが、今回は来年度の労働関係の重要課題である多様な働き方が可能となるための環境整備について、来年度どう取り組んでいくか話し合っていたく会議を開催しました。少子高齢化の進行など社会が大きく変わっている中で、家庭責任を有する方や高齢者をはじめ、働くことを希望している方が、自分のライフスタイルとバランスをとって働ける社会を築くことが、今の労働行政の大きなテーマです。多様な働き方を実現していくためには様々な課題がありますが、出席された各局の課長の方々により、様々な観点から議論がなされ、聞いているだけでも非常に勉強になります。会議に出る度に、自分の勉強不足を痛感させられますが、本当に皆さん労働行政を一生懸命考えていることが分かります。

17:00

国会へ

明日の国会審議の準備のため、質問通告を出されている議員のもとへ問取りへ。質問される議員の方々に適切に回答するために、どういう趣旨で質問されるかを、良く聞かなければなりません。質問をしている間になんか熱くなって議員と白熱した議論をしている人が……。これも仕事に情熱をもっている証拠ですが……。

18:00

国会作業

問取りから帰ってきて明日の国会審議のための答弁案の作成作業へ。各係に質問予定項目の内容の趣旨を伝え、作業を割り振り、上司の決裁を得ていきます。みんなが早く帰れるよう、スピードをあげて作業をしなければなりません。



23:00

退庁

やっとすべての作業が終了。今日は割合早く終わりました。早く帰れるときは早く……が基本ですが、明日は待ちに待った土曜日でもあり、職場の同僚と食事をかねて飲みに行くことに……。毎日の帰宅時間は決して早くなく、仕事も楽とは言えませんが、こうやって楽しく飲むことで、元気になっている気がします！



ONE DAY

8:00

起床

東村山の公務員住宅で起床。通勤時間は長くなく
るけど、子育ての環境を考えれば、やっぱり住ま
いは郊外に限る。でも、このくらい速くになると、
折り返しの始発電車で座って行けるので、かえ
って通勤は楽かもしれない。

8:55

職場に到着

本省の仕事というと、「夜遅い」というイメージ
が強いけど、政党の部会やその日の国会答弁の
大臣レクなどは朝早く行われることが多いから、
前の日の仕事が遅くなくても、遅れてくるわけ
にはいかない。しかし、政治家ってなんであんな
に早起きなんだろう？

まずは、パソコンを立ち上げて、新聞社のサイ
トでその日のニュースをチェック。労働基準局
関係の記事が載っていた場合には、資料要求が
きたり、その日の国会で急に質問が出たりする
ので、要注意だ。



8:50

ミニ局議

毎週月曜日は、定例のミニ局議だ。労働基準局は、
3部・12課をかかえる大所帯なので、局内の情
報交換が必須。そこで、毎週、局の主な幹部が集
まって(幹部全員じゃないから「ミニ」ね。)情
報交換の場を持つのである。局の総括補佐とし
ては、局内の動向をすべて把握しておくことは
重要な仕事なのである。

10:30

大臣レク

大臣や副大臣などの省幹部への説明は、基本的
には局長や課長の仕事だけだ。課長補佐もそこ
に同席したり、簡
単な案件であれば、
メインで説明する
こともあるのだ。
今日は、国会での
承認案件について
の説明だ。



12:00

昼休み

昼休みは、ほっと
ひとときの憩いの
時間。食事のあと
には当然デザート
タイム。午後の仕
事への活力がわい
てくる。



課長補佐の1日

労働基準局総務課課長補佐

鈴木 英二郎

(昭和63年入省)



13:30

局内会議

労働基準局は、賃金や労働時間など適正な労働条件の確保、職場における安全や衛生の確保、労働災害が発生した場合の補償、労働保険の適用・徴収、財形制度や労働金庫といった勤労者の福祉のための制度の施行など、非常に幅広い業務を実施している。これらの業務について、新しい政策や法律改正の検討のための会議が、日夜行われているのだ。今日の会議の結果が、明日の労働行政を大きく変えるかもしれない？



15:00

決裁

役所の場合、何をやるにしても書類で省内関係者の決裁を得ることが必要になる。政策関係の業務の場合、総括補佐の決裁を得なければ局の幹部にあげることができない。そのため、夕方近くになると、今日中に局長まであげなければならない案件が、駆け込みで大量にあがってきたりするのだ。でも、最近は省内LAN上で決裁をする電子決裁システムがかなり普及してきているので、こういう風景もなくなっていくかも？



17:00

国会対応

国会会期中には、このくらいの時間になると翌日の国会の本会議や委員会における質問項目が、官房を通じて流れてくる。総括補佐の仕事は、これを担当する各課室に割り振って、答弁の作成を指示し、出てきた答弁の内容をチェックすること。大量に質問が当たってしまうと、時計が午前をまわり、タクシー帰りになんてこともしばしば。今日は当たりませんように！

19:00

退庁

日頃の行いがいいせいか、めでたく国会の質問も当たらなかった(ラッキー)。仕事がなければ即退庁だ。ダラダラ残業が評価されたのなんて過去の話。「明日できることは、明日やる。」お疲れさま-

20:30

帰宅

役所を出て一路我が家へ。玄関では、子供たちがパパをお迎え。一日の疲れも、この瞬間に吹っ飛ばすぞ。



ONE DAY

8:30

与党・政策会議

与党であるA党の介護保険制度に関する委員会が開かれ、局内関係課長とともに出席。制度が順調に動いているためか国会議員の方々の議論も先鋭な対立という場面は少なく、説明を求められる役所側としては一安心。

9:40

コーヒーでスタート

役所にもどる。コーヒーをいただきながら関連新聞記事をバラバラめくり、メールをあけて始業準備。昨夜の飲み会の幹事からは「お疲れでした」のメール。



10:00

速報を聞く

この3月末現在の介護保険に関する市町村調査の速報値がまとまったというので報告を聞く。急ぎ局長まで一報を入れる必要があると判断し、概要資料を午前中に作成するよう指示。



10:30

来年度予算のフリートーク

今年度予算が国会で成立したのが3月末。そして桜の花がおわると、今度は早くも来年度の予算の議論が始まる。今日は課内でのフリートーク。予算をどの事業にどれだけ確保するかは最重要の課題。8月末の概算要求に向けて4ヶ月間つづく調整作業のうちの第1ステップだ。我が課の最大の課題は費用総額が5兆円を超える介護保険給付費。国の財政事情がきわめて厳しいなかでも必要な予算は確保しなければならない。いよいよ苦節の季節到来……



12:00

新聞記者さん

B新聞社のなじみの記者さんがぶらりと現れる。「何か動きませんか」という趣旨。

12:20

局長に速報値を入れる

外出先からもどった局長に、急ぎ市町村調査の速報値を一報。

課長の1日

老健局介護保険課長

貝谷 伸

(昭和53年入省)



12:40

遅めの昼食

13:30

地方からの要望

C県の健康福祉部長さんが来訪。制度改正要望書を受けとる。制度見直し時期が近づいたため地方からの改正要望は多い。



14:00

記者発表

介護保険制度の13年度分の年次報告について省内の記者クラブに資料提供し説明を行う。



15:00

制度改正に向けた局議

昨年秋から行っている改正項目別の集中的なディスカッション。局長以下、全課長そろそろ。



17:00

第5回高齢者介護研究会

10年後の高齢者介護ビジョンを検討していただいている研究会(堀田力・さわやか福祉財団理事長が座長)に局長以下参加。学者・研究者が中心、役所側も議論に加わって進行。今日のテーマは「痴呆性高齢者ケア」。



20:35

研究会メンバーと食事

3時間にわたる審議が終了し、そのままメンバーの方々と食事をいただく。

20:45

役所にもどり、退庁

朝の与党での会議から夕方からの研究会と、いつになくハードな一日。疲れは隠せずそのまま帰宅。

ONE DAY